

## 第1回 箱崎キャンパス跡地利用協議会 議事要旨

開催日時：平成25年7月5日 10:30~12:00

場所：九州大学箱崎キャンパス 本部第1庁舎第1会議室

### 会議次第

1. 開会
2. 九州大学 今泉理事・副学長 挨拶
3. 委員紹介
4. 協議会設置要綱の説明及び委員長の選任
5. 跡地利用将来ビジョンの概要説明
6. 跡地利用の進め方について
7. 跡地利用計画について
8. 質疑及び意見交換
9. 閉会

### 配布資料

- 【資料1】「箱崎キャンパス跡地利用協議会設置要綱」
- 【資料2】「跡地利用の進め方(案)」
- 【資料3】「跡地利用計画の構成について」
- 【資料4】「参考資料(将来ビジョン検討委員会資料より抜粋)」  
(別添資料)
  - ・九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン(概要版)
  - ・九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン(冊子)

### 議事要旨

#### 委員長選任等

- 一般社団法人九州経済連合会の植松委員は欠席のため廣瀬部長が代理出席。
- 福岡商工会議所中村委員は欠席のため檜山部次長が代理出席。
- 委員長に坂井委員が選任された。
- 坂井委員長の指名により、副委員長に出口委員が選任された。
- 坂井委員長の申し出により、九州地方整備局建政部長江課長がオブザーバーとして協議会に参加した。

#### 「跡地利用将来ビジョンの概要説明」

事務局より【資料4】「参考資料(将来ビジョン検討委員会資料より抜粋)」及び別添資料「九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン(概要版)」に沿って、跡地利用ビジョンの概要の説明がなされた。

「跡地利用の進め方について」・「跡地利用計画について」の説明

事務局より【資料2】「跡地利用の進め方(案)」及び【資料3】「跡地利用計画の構成について」に沿って説明がなされた。また、スクリーン上に「跡地利用計画案(イメージ)」を投影し、跡地利用計画のアウトプットイメージとして説明がなされた。

質疑及び意見交換要旨

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料2の跡地利用の進め方について、近代建築物は跡地利用計画が成案になる前から解体する可能性があるのか。</li> <li>● フローの「建築工事」や「新たな土地利用開始」とはどのような内容を指しているのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 跡地利用計画の成案前に近代建築物を解体することは考えていない。ただ、近代建築物以外の建築物で使われていない物については速やかに解体していくという考えである。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フロー中の「建築工事」については、土地の引き渡し後、各事業者が行う建築工事のことを指し、「新たな土地利用開始」とは、建物が立地し、まちとして機能しはじめる段階のことといわゆる「まちびらき」のことを指している。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学の敷地内には構内通路はあるが、公が管理する道路はない。土地利用には道路が必要なので、計画を立て、都市計画決定の手続きも行った上で、委員ご指摘の「建築工事」や「新たな土地利用開始」等の跡地利用につないでいくことになる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スケジュールの中で土地利用開始が一つの流れで表されているが、これはすべての敷地が一斉にということではなく、H26年以降に段階的に進められ、場所によって時間のずれが出てくると認識している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要に応じて都市計画決定をしなければならなくなると思うが、都市計画法上の手続きと跡地利用計画との絡みはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市計画の手続きについては、跡地利用計画案を検討する段階で都市計画のことも踏まえながら、関係部署と協議を進めたいと考えている。</li> <li>● 跡地利用計画が都市計画の青写真になるように成案を作っていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 場合によっては、跡地利用計画案の再検討もありうるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 結果的にそうなる可能性もあるが、この跡地利用計画が終わった段階で必要な手続きに入れるように出来るだけ後戻りがないよう調整していきたいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福岡地域戦略推進協議会(FDC)で都心部の再生の検討がだいぶ進んでいるようだが、そこから見た箱崎の位置づけ等はどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FDCが取り組んでいる都心再生は都心の質を高めていくということが最優先であり、都心部にまず投資をしていくことが全体の底上げになるとしている。そのため箱崎を含め他地区については触れないで、都心再生に注力して議論している。</li> <li>● FDCの観光部会で、MICE振興のプロジェクトを進めている。今後は、大型MICE施設の整備の必要性について、九州全体を視野に入れて検討が必要だという認識はしている。FDC以外の場で、大型MICE施設は鉄軌道に近くて、一定規模のスペースがある箱崎を検討地にと発言をされている方もいるが、FDCでは箱崎が検討の材料になるかどうか未定でまだこれからの議論となる。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済界からのこの土地への期待についてはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 九州全体の中で福岡市がリードしていかなくてはいけない都市ということは間違いない。</li> <li>● アジアに近い福岡の中で、九大は、特に留学生との交流の歴史もあるので、留学生を受け入れられるような国際的な物流産業や新産業等、受け皿のようなものができれば、経済界として立地等で入っていけばいいと思う。</li> <li>● これからのまちづくりとして、全国的にコンパクトシティとか、タウンモビリティとかモビリティマネジメントとか言われており、この地区は特に鉄道の便利がいいので、モデル都市にふさわしい新しいまちづくりができるのではと思う。</li> <li>● 高齢化社会において、今までの自動車中心でない、新しい形のモデルの地域になればと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の商業、産業の振興から箱崎が担うべきことについてはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 箱崎も含め、地域商店街は非常に厳しい状況に置かれているが、感覚的には非常に新しい若い経営者の方たちの飲食店の出店が増えており、住民も若い世帯が増えてきた。箱崎地区ではその受け皿に商店街が担う力が必要になっており、イベント等を介し、地域住民と商店街がひとつになり少しずつ協力しながら取り組んでいる。</li> <li>● 地域の商店街は、九大がなくなることは分かっており、どういう手を打つか5年先を見ながら考えている。</li> <li>● 今までの商店街は、大型店は反対だという流れだったが、今の新しい経営者の感覚では共存していくという考え方に変わってきている。香椎でも、イオンが来る前に非常にもめたが、やはり共存していく形になってきている。私としては、ここにも出来ればマグネットとして一つ欲しいなど思っている。</li> <li>● 都市計画道路（博多箱崎線）の整備についても色んな意見があって、現状の雰囲気は非常にいいが、交通の面で不安だという意見もある。この都市計画道路がどうなるかは気になるところ。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東区役所としては、これからのまちづくりの視点でこの箱崎をどのように考えているのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来ビジョンの中にもあるとおり、周辺地域との調和連携、交流しながら一体的に発展するということは実際にこの通りだと思う。</li> <li>● 今は少し活気がなくなりつつあるということから、活気づくりということと安全安心いわゆる防災の観点というのものが必要であると思っている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もう少し広域的な視点で、県からお話をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ここの土地利用で、例えば商業機能等いわゆる大規模集客施設の計画があれば、立地ビジョン中で広域的な観点からの位置づけが必要となる。将来ビジョンの中でもそういったことが書かれているので、本協議会での検討状況等を注視しながら、区域マスタープランの中で広域拠点としての位置づけを考えなければならないと思っており、県としては、その辺りを支援していきたい。</li> <li>● 交通機能について、鉄道の関係もあるが、確かに都市計画道路を始めとして少し強化が必要だろうと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の地区の事例等から見てこの箱崎についての新しい視点、これから気をつけなければならないポイントがあれば教えていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分割して段階的に開発を進めていく上で、何が最適かということは時間の経過とともに変化する可能性があると思われるので、跡地利用計画を策定して</li> </ul>

	<p>いく上では、どこまで決めるべきかということ意識しながら検討を進めなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路や緑、人の動線等の検討にあたっては、どれが本当に必要でその次はどうかといったプライオリティを整理して決めていくべきだと考える。そういった順番を意識しながら、事務局のほうで案を示していただいたほうがいいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元の委員から自治協議会でそれぞれ行われているまちづくりの取組みに関して、ご報告を兼ねてお話しいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後、計画を検討するときには、常に管崎宮迄を含んだ鳥瞰的な視点からインフラ、特に道路の計画をしていく必要があると思う。</li> <li>● 1000年という歴史の中で管崎宮を意識したまちづくり、そしてその中の43haの九大跡地という風な捉え方をする必要がある。</li> <li>● 放生会のイベントとして、管崎宮から箱崎駅まで、人が集まってくるように通りの店にも出来る限りシャッターを開けてもらい、この地域の特性を感じてもらおうとしている。そのような流れが九州大学の跡地にも流れてくるような土地利用ができれば楽しくなるのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来ビジョンでも周辺との調和ということを言っている。周辺の地域がどういうものを望んで跡地利用とリンクしたいのか、それにふさわしい空間とつなぎ方、それぞれの波及効果がどうやったら生まれるのかといった知恵も色々な方から聞きながら具体化していきたい。</li> <li>● 周辺地域にたくさんある緑も水も歴史もどう生かしていくのかが大事なところではないかと思っており、それを含んだ計画にしていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の関与が少し見えにくいと感じている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市計画的な要素の中で、県はもっと広域的な立場で関与していくことになる。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県には、先ほどの立地ビジョンや、交通機能で役割をお願いすることになると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協議会の役割について良く分からないところがある。また、跡地利用計画の具体的なイメージが湧かない。我々が提案していた土地を切り刻まないことや防災を始めとした公園の配置等はこの跡地利用計画ではどうなるのか。そういう議論はもう終わったのか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災を踏まえたまちづくりは、将来ビジョンの中で土地利用の考え方の一つとして出しているが、今後それがこの協議会で決めるアウトプットにどのように反映されるのかイメージがわからないというご意見だが、事務局としてはいかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑をいかに多く取るか、緑のネットワークをどうしていくかというのは、実は今の箱崎の緑のボリュームを生かしていくという話と繋がるし、道路がないとまちとして成り立っていかないので、そういった土地利用をどうやっていこうかということに深くつながっていると思う。公園や、緑の軸等を生かしていくことを含めて、出来るだけ緑が見えるように配置をしていくという計画を作っていこうと考えている。</li> <li>● 緑豊かで快適な環境を作っていくために、民有地の中にもそのような工夫をしてもらうためのルールづくり等、具体的にまちづくりのルールも含めて検討して次につなげていくということが跡地利用計画の役割ではないかと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の関与について補足すると、昨年度の将来ビジョン検討委員会には企画・</li> </ul>

	<p>地域振興部が出席されていたためご承知ないかと思うが、4校区協議会で跡地利用について要望をし、その中で具体的には県立図書館の移転について要望をしている。この要望に対し、他の委員が言われるように地域からは福岡県の動きがなかなか見えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 箱崎校区では将来ビジョンを自治協議会に説明し、校区住民にはまちづくり新聞で回覧というかたちで皆さんに知らせている。また、将来ビジョンの概要を詳しく説明した4校区ニュースを4校区住民に配布し周知している。</li> <li>● 今月には、将来ビジョンの説明会とあわせて、周辺地域が跡地と一緒にまちづくりに関わりマネジメントをしていくことの必要性について講演会を催す予定。</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来ビジョンをもとに、関係者で議論を進めて詰めていくという段階だと思うが、まちづくりは構想を具体的なプランに落としこむのに苦労することが多いと思う。一方で、跡地利用がなかなか進まないということでは、逆に周辺に悪影響を与えることもあると思うので、スケジュール感をもって関係者でうまく進めていってもらえればと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ある程度スピード感を持ったほうが良いというご意見と承った。</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国交省では、大都市では国際競争力の強化、地方都市では高齢化や人口減少への対応という視点で、今後都市の構造をどのようにしていくべきかという抜本的な都市の再構築について議論を行っているところ。</li> <li>● 国際競争力では先ほども話に出たMICE、高齢化対応では例えば近隣の病院との連携などのアイデアも考えられるが、そのような具体的な機能の検討を進め、今後の都市の状況にあったまちづくりを実現してもらえればと思う。国としても今後政策展開していくことになると思うので、できる協力はさせていただききたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の校区で、勉強会とか色々と協議されていると思うが、女性や若い方がどのくらい参加しているのか。</li> <li>● 今後そのような方々のご意見をどうやってこの協議会の中に反映していくのか、そういう部分を是非期待したいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PTAのお母さん方にぜひ我々の説明会にも来てもらいたい。でもそういった場に来られていないのが現状。いかにこういう方たちを呼び込むかということは今後大切なことだが、なかなか具体的な策はない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来を担う子供たちに対してもある程度のアクションを起こすことが、まちづくりとしては必要だろう。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元で説明されるとのことだが、九州大学の跡地の説明会なのか。それとも箱崎地域全体の将来像に関する説明会なのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今のところは将来ビジョンを皆さんに周知するのが目的。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● そうすると地域の方はあまり興味を示さないと思う。自分の住んでる町がどうなるのかということを取り込んで話していかないと箱崎の九大の跡地だけだったら跡地は跡地で何とかかなとの意識が強いのではないかと思う。</li> <li>● 自分たちが住んでいる町が10年後20年後どうなるのかというような話の持っていく方をしないと若い方も参加しにくい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来ビジョンの説明会と一緒に、柏の葉アーバンデザインセンターの先生の講演がそのきっかけになればと考えている。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この協議会で協議を活発に進めていくのはちょっと難しいなという気がしている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まず、何を指すのかというところが見えていないので補助線が欲しい。例えば、仮想でも構わないが、跡地全体が出来上がるのが移転完了から6年後の2025年とする等のゴールを設定してバックキャストで議論していくことが必要なのでは。</li> <li>● 現状では、協議会で九州大学や福岡市の作った案が出てきてそれに対していいとか悪いとかの話が出るだけで、いつまで経っても平行線と言う気がしてならない。</li> <li>● 地域としては、ゴールを見据えて4校区全体がまとまって、一つの計画をきちんと作っていただいて、それに基づいて意見を言っていただくことが必要。</li> <li>● 跡地利用計画の構成で、3章と4章の間にもう少し箱崎キャンパスを中心にして周辺の1キロから2キロくらいの周囲が将来こういうような計画になって、それに基づいて土地利用の計画を行う、といったものが見えないといけないのではと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済界からは大変期待がもてるお話をしていただいた。地元の方々からは、様々な取組みと周辺との関係が新たに宿題として見えてきた。県と九地整にもこれからの役割分担等も含めた話をしていただいた。</li> <li>● 周辺を入れた計画を地域のビジョンとして押さえないと議論としてもったいない気がする。そのあたりの作り方は特に地元の委員にも、少しご相談させていただきながら、今後、この協議会で議論を深めていきたい。</li> </ul>
閉会	

以上